

第122回奈良国際文化観光都市建設審議会会議録

開催日時	令和3年1月25日（月曜日） 14時00分～14時50分		
開催場所	奈良市役所 中央棟地下会議室		
出席者	委員	伊藤隆司委員 伊藤忠通委員 井上芳恵委員 井原縁委員 大窪健之委員 太田晃司委員 柿本元気委員 小山新造委員 下村由加里委員 巽一孝委員 原久弥委員 藤田幸代委員 松村恵司委員（不藤忠義氏代理出席） 山本直子委員	
	事務局	西谷忠雄副市長 荻田勝人都市整備部長 田中実都市整備部 次長 松山美彦都市計画課長 三山和宏開発指導課長 金子 和正建築指導課長 他	
開催形態	公開（傍聴人：一般0人、報道関係者0人）	担当課	都市整備部 都市計画課
議題等	（議案） 1. 大和都市計画道路の変更（案）について（県決定）		
決定又は取り纏め事項	（議案） 1. 議案は原案どおり了承された。		
議事の概要及び議題等に対する主な意見等			
<p>（議案）</p> <p>1 大和都市計画道路の変更（案）について（県決定） （都市計画道路大宮通り線について高架橋の設置及び区域変更（案）、並びに奈良大阪線について起点位置及び区域変更（案）について事務局より説明を行い、審議された。）</p> <p>大窪副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宝来ランプの整備により、課題であった奈良大阪線へのアクセスがだいぶ整理されるだろう。 ・ 本線部から奈良大阪線への分岐箇所について、側道部のバイパスが高架になる関係で、柱が立ってしまう。柱をかわすために、減速や急なカーブが必要なので、事前に「十分な減速や急カーブがある」旨の表示を設置するなど安全上問題が無いようにしてほしい。 ・ 新設する高架橋が大宮通り線本線部へ合流するが、高架橋には側壁が設置される。そうすると、本線部を生駒方面に走っている車両から見ると、側壁が視界を遮るので、合流してくる車が急に飛び出すように見える可能性がある。合流や分岐部の安全性の検証はされているのか。 ・ 環境予測の断面位置について、この地点を選んだ理由は。 <p>（事務局より、計画について詳細設計は未完の状況。安全面についての意見をいただいた旨を奈良県へ申し入れたい。また、環境予測の断面位置については、道路構造が大きく変わる地点の代表として選定した、と回答。）</p> <p>大窪副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな事故が発生しないよう安全を確保してほしい。 ・ 環境予測の断面位置については、民地やホテルが迫ってきている地点であり、また高架を上る際は騒音が大きくなるので、適切な位置だと考える。 			

山本直子委員

- ・ 高架橋ができることによって今よりも見通しが悪くなる。本当に安全なのかどうか。
- ・ 地元説明に行った際に工事期間や開通までどれくらいと想定しているか。
- ・ 地元説明会における主な質疑応答6-2に「入店待ちの車が道路に溢れないよう警察との協議の上、事業者へ指導をする等の措置をとっていく」とあるが、本当にきちんとした措置がとれるのか。具体的にどのような措置を考えているのか。

(事務局より、安全の確保については奈良県へ申し入れしていく。工事期間については、これから都市計画手続きや詳細設計等があるが、概ね10年程度と聞いている。入店待ちの車が道路に溢れていることに関する対策については、現時点で具体的な方策を聞いていない。奈良県が警察と協議した上で決定していく状況、と回答。)

伊藤忠通会長

- ・ 地元説明会における主な質疑応答によると、新設する高架橋の入り口より西側の沿道からは高架橋を通れないとあり、黄色い経路を通る必要があるが、市道が鋭角に曲がっており、また近くに小学校がある。普段、抜け道になっている等も聞くが、通過交通が増えた場合、安全面は問題無いのか。

(事務局より、市道の交通量増加は限定的と県から聞いているが、通学路でもあるので対策について関係課と調整し安全性向上に取り組んでいく必要がある、と回答。)

伊藤忠通会長

- ・ 市道の問題であるが、奈良県へも内容を伝えてほしい。
- ・ また、本日の審議会で出た他の意見についても市から奈良県へ伝え、リターンがあれば国都審へ情報提供を行ってほしい。

⇒審議の結果、原案通り了承された。

資料	<ul style="list-style-type: none">・ 次第・ 座席表・ 委員名簿・ 大和都市計画道路の変更（県決定）
----	--